長楽寺

中仙町豊川長楽寺

この村は至るところに清水が湧き、早くからひらけ長楽寺といった旧寺があり、それが地名になったと伝えられているが、その宗派も寺跡も全くわからない。

長楽寺熊の堂に小野寺上野守藤原道俊が大永五年円形の鏡の御正体三面を鋳(つくら)せ、一面はこの社に奉り、今一面は川向村の熊の堂に、一面は小沢の熊野神社に奉った。大永の頃の三熊野の一社であった。長楽寺はこの熊野神社の別当寺だろうとも伝えられている